



2026年 9 月10日

各 位

会 社 名 SOLIZE Holdings株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 宮藤 康聡
(コード：5871、スタンダード市場)
問合せ先責任者 上席執行役員 中島 宏史
(TEL. 03-5214-1919)

**当社連結子会社による株式会社エンジョイの株式取得（孫会社化）
及び財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ**

当社は、2026年 9 月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である+81株式会社（以下、「+81」という。）が、株式会社エンジョイ（以下、「エンジョイ」という。）の全株式を取得（以下、「本株式取得」という。）し孫会社化すること、及び本株式取得資金の一部に充当するため、当社が財務上の特約が付された金銭消費貸借契約により資金の借入を実行することを決議いたしました。また、エンジョイの資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社（孫会社）に該当する予定となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは創業時より一貫して、デジタルテクノロジーを活用したものづくりのデジタル化及びデジタルものづくりを革新し続けている企業です。グローバルで2,000名を超えるエンジニアが在籍しており、ハイエンド領域に特化したサービス提供体制を構築しております。多様なものづくりの現場で培われた実践力と、暗黙知（意思決定ロジック）まで踏み込む可視化・数値化技術をベースとした変革力が当社の主たるケイパビリティであり、大手製造業を中心とした顧客に価値を提供し続けてきました。

当社の連結子会社である+81は、社会・産業課題の解決を担う事業共創家として「資金の循環を促し、新たな事業の創出と挑戦の機会を生み出す」ことをミッションとして掲げ、これまでソフトウェア事業、XR関連サービス、民間学童事業など、当社グループにおける成長性と社会性を両立した事業の立ち上げを牽引してまいりました。特に、ソフトウェアは社会・産業構造を再定義する重要な基盤であると認識しており、主力事業の一つとして積極的な拡大を図っております。

エンジョイは創業以来、システム・エンジニアリング・サービス（SES）を主軸として着実な成長を遂げており、「楽しむことから未来をつくる」という理念のもと、エンジニア一人ひとりが成長を実感できる組織を実現しております。また、金融機関や公共・行政向けのシステム開発等の安定した取引基盤を有し、自社エンジニアに加えて自ら主導して組成したパートナーネットワークを組み合わせ、顧客の要員ニーズに対して個々の技術者提供にとどまらないチーム単位での人材供給力は同社の強みであると認識しております。

当社グループでは、中長期の成長戦略としてケイパビリティ、産業・市場、地域という3つの領域の拡張を掲げております。また、成長戦略を遂行していくにあたっては、人的資本経営をはじめとした人材戦略や、M&Aなどの投資戦略が果たす役割は非常に大きく重要であると考えております。

本株式取得により、エンジョイには当社グループが掲げる自主自律経営を推進いただきながらも、エンジョイが有する金融業向けソフトウェア開発の知見及び外部リソースを活用した組織運営ノウハウと、当社グループが保有する顧客基盤、人材育成・ケアのノウハウ、製造業向けソフトウェア開発・AI駆動開発領域における知見等を融合することで、当社グループとして、幅広い需要の獲得や事業領域の拡大が期待できるとともに、管理体制やバックオフィス機能の強化を通じて、持続可能な経営基盤の構築も可能となるなど相応の相乗効果が見込め、ケイパビリティや産業・市場の拡張に寄与するものと判断しております。

2. 株式取得を行う当社連結子会社の概要

(1)	名 称	+81株式会社
(2)	所 在 地	東京都千代田区三番町6番3号 三番町UFビル3階
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 貴人
(4)	事 業 内 容	社会・産業課題の解決に向けた新規事業の開発及び運営
(5)	資 本 金	10百万円
(6)	設 立 年 月 日	2025年1月6日
(7)	大株主及び持株比率	SOLIZE Holdings株式会社 (100%)

3. 異動する孫会社（株式会社エンジョイ）の概要

(1)	名 称	株式会社エンジョイ		
(2)	所 在 地	東京都台東区上野6丁目1番11号 平岡ビル		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 武井 謙一		
(4)	事 業 内 容	システムエンジニアリングサービス		
(5)	資 本 金	10百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2013年11月22日		
(7)	大株主及び持株比率	個人株主2名（100%）		
(8)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期
	純 資 産	624,194千円	823,678千円	1,036,857千円
	総 資 産	1,096,134千円	1,336,038千円	1,554,511千円
	1株当たり純資産	624,194円92銭	823,678円03銭	1,036,857円24銭
	売 上 高	2,000,446千円	2,259,773千円	2,736,125千円
	営 業 利 益	230,358千円	260,028千円	263,096千円
	経 常 利 益	271,243千円	285,490千円	302,312千円
	当 期 純 利 益	185,278千円	199,483千円	213,179千円
	1株当たり当期純利益	185,278円69銭	199,483円10銭	213,179円21銭
	1株当たり配当金（円）	-	-	-

4. 株式取得の相手先の概要

個人株主2名につきましては、相手先の意向により詳細は非開示とさせていただきますが、当社グループとの間に資本関係、人的関係、取引関係等はありません。

5. 取得株式数、取得金額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	一株（議決権の数：一個、議決権所有割合：－％）		
(2)	取 得 株 式 数	1,000株（議決権の数：1,000個）		
(3)	取 得 金 額	株式会社エンジョイの普通株式	3,200百万円	
		アドバイザー費用等（概算額）	12百万円	
		合計（概算額）	3,212百万円	
(4)	異動後の所有株式数	1,000株（議決権の数：1,000個、議決権所有割合：100%）		

6. 日程

(1)	取 締 役 会 決 議 日	2026年9月10日
(2)	契 約 締 結 日	2026年9月10日
(3)	株 式 譲 渡 実 行 日	2026年10月1日（予定）

7. 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の内容

(1) 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結の理由

本株式取得の資金の一部に充当するため、金融機関から借入れを行う予定です。

(2) 金銭消費貸借契約の内容 (予定)

①	借	入	先	都市銀行
②	借	入	日	2026年9月30日
③	借	入	金 額	2,700百万円
④	借	入	期 間	最長10年
⑤	利		率	基準金利＋スプレッド
⑥	担 保 提 供 資 産 等			検討中
⑦	資 金 使 途			本株式取得のため

(3) 金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

現時点において、金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容については協議中であるため、詳細が決まり次第開示いたします。

8. 今後の見通し

本株式取得が予定通り実行された場合、株式会社エンジョイは2026年12月期第4四半期より当社の連結孫会社となる予定であり、当社の2026年12月期の連結業績に与える影響は算定中となります。

また、当社の連結財務諸表上、のれんが発生する見込みではありますが、のれんの金額及び会計処理等につきましては、現時点では確定しておりません。

今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上